

2011年度

科目名	日本文学講読Ⅱ				
担当教員	浅尾 広良				
配当	日文1(2111)		コード	22010	
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	おもしろく『源氏物語』を読む				
目的と概要	平安時代の物語文学、特に『源氏物語』に焦点を当て、それを読む上での基礎的な知識や内容の問題点について解説しながら、具体的に物語本文を読み理解を深めます。主として『源氏物語』のもっている構造や主題に注目するとともに、丹念に本文の内容を検討し、そのもつ問題点についてどのように読める可能性があるのかを探っていきます。 基本的に講義形式で『源氏物語』を原文で読んで行き、毎回最後に簡単な小テストを課す予定です。小テストには質問の欄も設けてあるので、分からないことがあったらそのままにしないで、積極的に質問してください。次の授業の最初に質問に対する回答をし理解を深めます。				
成績評価法	学期末試験(80%)、毎回授業の最後に行う確認小テストおよび授業への取り組む姿勢(20%)を総合して評価します。				
テキスト	授業時にプリントを配布します。				
参考書	授業時に適宜紹介します。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	(注意)授業時に居眠りや内職を繰り返す場合は授業放棄と見なし、欠席扱いとします。また、私語がひどい場合も注意は2度までとし、3度目からは授業妨害として学期末試験の受験資格を失うこととします。当然のことながら、授業中の飲食は厳禁です。 (助言)授業の中で不明な点があれば、分からないままにしないでどんどん質問してください。試験は論述形式で行いますのでしっかりノートをとっておきましょう。 (準備学習)前回やった内容を必ず確認し、整理して授業に臨んでください。時間的な制約があり、授業ではすべてを読むことはできません。事前に次回の内容の箇所を読んでみましょう。また興味をもったら他の箇所も是非自分で読んでみましょう。				
講義計画					
1 オリエンテーション 源氏物語をめぐる10の謎 (1) 2 源氏物語をめぐる10の謎 (2) 3 源氏物語の第一部の巻の構造・源氏物語の語りの構造 4 桐壺巻を読む (1) 「物語の冒頭の意味」 5 桐壺巻を読む (2) 「桐壺帝と桐壺更衣の恋と破綻」 6 桐壺巻を読む (3) 「家の遺志・高麗人の観相・藤壺の入内」 7 桐壺巻を読む (4) 「光源氏の元服」 若紫巻を読む (1) 「垣間見」の方法 8 若紫巻を読む (2) 「若紫」の意味・「伊勢物語の引用の意味」 9 若紫巻を読む (3) 「光源氏と藤壺の密通」・「伊勢物語引用」 10 葵巻を読む (1) 「御代替わりと車争い」 11 葵巻を読む (2) 「物の怪出現の意味・六条御息所生霊事件とその後」 12 賢木巻を読む (1) 「六条御息所の伊勢下向」 13 賢木巻を読む (2) 「桐壺院崩御」 14 須磨巻・明石巻を読む (1) 「須磨退去」「上巳の祓い」「桐壺院の霊夢」 15 全体のまとめ					